

緊急地震速報 ~そのときあなたはどのように!?~

最近、日本各地で地震が相次いでいます。2018年に発生した胆振東部地震は最大震度7を記録し、日本初となるブラックアウトが北海道で起こりました。

先日、浦河沖を震源地とした地震が発生したのは、記憶に新しいと思います。

そこで今回は、緊急地震速報のしくみやとるべき行動などについてを特集します。

◎緊急地震速報とは

地震の発生直後に各地での強い揺れの到達時刻や震度、長周期地震動階級を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。

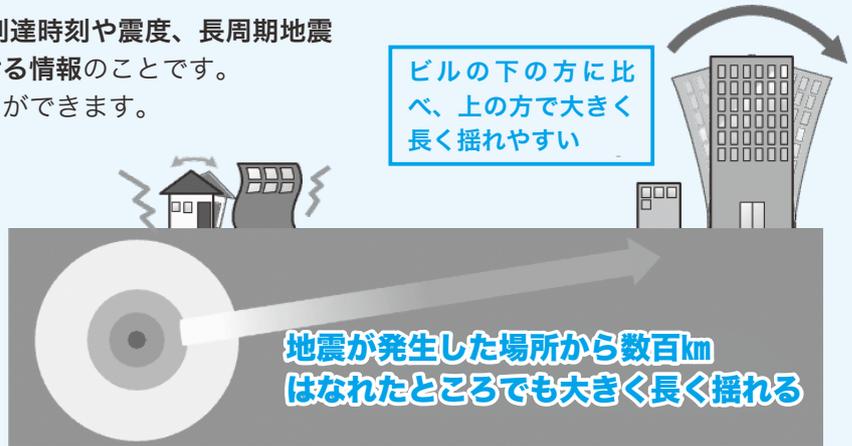
これにより、強い揺れの発生を知ることができます。

ビルの下の方に比べ、上の方で大きく長く揺れやすい

◎長周期地震動とは

大きな地震が発生したときに生じる、周期（1往復するのにかかる時間）が長いゆっくりとした揺れのことです。

特徴として、遠くまで伝わりやすく、離れたところでも大きく長く揺れます。



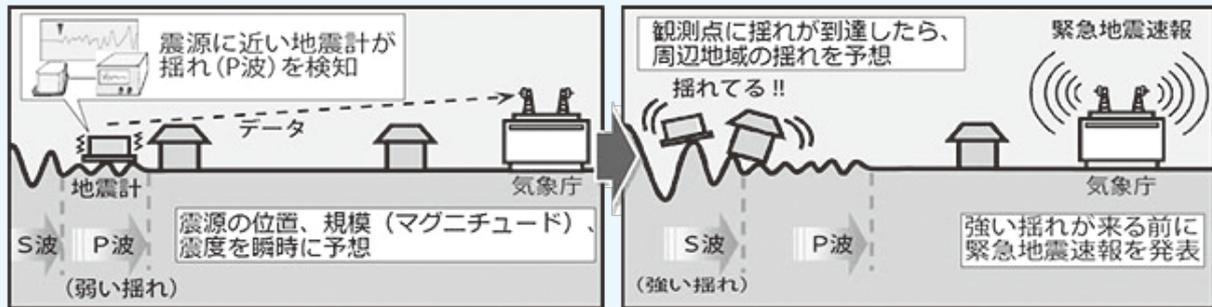
出典:気象庁リーフレット『知ってる?長周期地震動のこと』より

◎緊急地震速報のしくみ

地震が発生すると、地震波という震源からの揺れが波となって地面を伝わる現象が起きます。

地震波にはP波とS波があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。

一方、強い揺れによる被害があるのは、主に後から伝わるS波です。このため、地震波の伝わる速度差を利用して、P波を検知した段階でS波が伝わる前に、危険が迫っていることを知らせることが可能になります。



出典：気象庁ホームページ『緊急地震速報のしくみ』より

◎緊急地震速報(警報)の発表条件

最大震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を予想した場合に、緊急地震速報が発表されます。

長周期地震動階級の基準のみで発表する頻度は少ないですが、人命に関わる重大な災害が起こるおそれがあるため、2023年2月以降から発表の基準に追加されています。

発表条件	震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上または長周期地震動階級3以上を予想した地域

